書式第１２号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

２０２１年度　　事　業　報　告　書

特定非営利活動法人インクルーシブデザインネットワーク

1　事業の成果

2021年度も、新型コロナウイルス感染症により活動が制限される環境下であったが、当法人の専門性を活かしつつ、安全に配慮しながら事業を継続した。同時に「New Normal」におけるユニバーサルデザイン（UD）配慮ポイントなどを試行・検証した。

①まちづくり、ものづくり支援事業

・3回目となる「インクルーシブデザインアイデアソン」（ユーザー参加型のデザインワークショップ）を、11月9日（火）・10日（水）、20日（土）で開催した。2021年度もオンライン開催となったが、ユーザー（障害者5名）を一部リアルの対面参加とすることで、より密なコミュニケーションが取れるよう改善した。参加いただいた10社23名の企業内デザイナーが5チームに分かれて、ユーザーに寄り添ったインクルーシブデザインの製品やサービスを考案・発表いただいた。

また最終日のプレゼンテーションには、[redacted]にプライベートでご参加いただき、各チームの発表に対するご講評やインクルーシブデザインに対する期待のお言葉をいただいた。

https://incl-design.net/ideathon2021-report/

・2021年度より、オンライン形式の講演＆ワークショップである「インクルーシブ・テーマトーク」を新しい事業として開始した。これはインクルーシブな社会づくりに向けた「テーマ」を各回で設定し、それに関する講演と参加者の業種横断的なディスカッションにより、新たな知見やチャネルの構築、共創活動を支援することを目的とするものである。2021年度は以下のとおり3回実施し、会員を中心にそれぞれ約40名の方に参加いただいた。

第1回7月27日（火）　テーマ：実践事例 インクルーシブデザイン視点で既存エレベーターホールの動線改善（講演者：㈱コンセント）

第2回10月20日（水）　テーマ：社会課題と実践事例『モバイルトイレ』の開発と社会に示す新たな可能性（講演者：トヨタ自動車㈱、NPO法人アクセシブル・ラボ）

第3回3月2日（水）　テーマ：『パラリンピックの残したもの』～パラリンピックで進んだこと、まだまだ残る課題～（講演者：アクセシビリティ研究所、オンボラ・コミnet）

https://incl-design.net/20213theme-talk/

・企業より、自社の一般大衆向け製品についての「インクルーシブ視点でのユーザビリティ評価」提案依頼をいただいた。残念ながら実現には至らなかったが、今後もインクルーシブな製品・サービスの開発に向けたサポートを行っていきたい。

②人材育成、高齢者・障害者活動支援事業

小中学校向けの「子どもユニバーサルデザイン（UD）授業」を継続実施。武蔵村山市では、学校からのご要望もいただき、武蔵村山五中（11月25日（木））、武蔵村山一中（12月18日（土））、村山学園（小学部）（3月9日（水））の3回実施し、それぞれ地元社会福祉協議会とボランティアスタッフのご協力により、高齢者・障害者体験授業を行った。また2021年度新たに、武蔵村山一中では脳性麻痺障害者の講

演、村山学園ではアイマスクをつけてできるレクリエーションメニューも試行した。
これまでの武蔵村山市での実績をベースに、他地域での開催を模索してきたが、2021年度は豊田市社会福祉協議会、トヨタ自動車㈱の協力により、愛知県豊田市で初めての「子ども UD 授業」を実施することができた。12月21日（火）、豊田市立飯野小学校での「障がいを理解する実践教室」（対象6年生35名）の車いすプログラムの一環として「子ども UD 授業」を組み入れる形での実施となった。来年度以降の継続についても検討中である。
https://incl-design.net/2021-12-kodomo-ud/
③その他調査研究、普及啓発事業
会員企業向けの普及啓発活動として、2月14日（月）「UD 講演会 [redacted] を開催し、対面とオンラインで200名以上の方に参加いただき、UD の重要性を再認識いただいた。
また、法人ホームページでの定期的な情報発信に加え、会員専用ページを活用し、活動内容や成果の共有を行っている。
https://incl-design.net/

2　事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【 2,651 】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
①まちづくり、ものづくり支援事業	インクルーシブデザインアイデアソン	11/9・10, 11/20	3331 Arts Chiyoda、オンライン	10人	企業のデザイナー、障害者	28人	2,403
	インクルーシブ・テーマトーク	7/27,10/20, 3/2	オンライン	4人	デザイン関係者	120人(延べ)	
②人材育成、高齢者・障害者活動支援事業	子ども UD 授業	11/25,12/18, 3/9	東京都武蔵村山市	22人(延べ)	小学生、中学生先生	280人(延べ)	231
		12/21	愛知県豊田市	5人	小学生、先生	40人	
③その他調査研究、普及啓発事業	UD 講演会	2/14	豊田市、オンライン	5人	企業のデザイナー、技術者	220人	17
	ホームページでの活動紹介によるインクルーシブデザインの啓発	随時	法人事務所	5人	一般	不特定多数	

（2）その他の事業　　（事業費の総費用【　　】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費（千円）

書式第１３号（法第２８条関係）

事業報告用

令和３年度　活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人インクルーシブデザインネットワーク

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【A】経常収益		
1　受取会費		2,244,000
正会員受取会費	2,244,000	
賛助会員受取会費	0	
2　受取寄附金		15,000
受取寄附金	15,000	
施設等受入評価益	0	
3　受取助成金等		0
受取補助金	0	
4　事業収益		1,231,323
まちづくり、ものづくり支援事業収益	1,213,750	
人材育成、高齢者・障害者活動支援事業収益	17,573	
その他調査研究、普及啓発事業収益	0	
5　その他の収益		2,042
受取利息	42	
雑収益	2,000	
経常収益計		3,492,365
【B】経常費用		
1　事業費		
（1）人件費		0
給料手当	0	
役員報酬	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
（2）その他経費		2,651,094
会場費	0	
業務委託費	1,450,940	
諸謝金	605,500	
会議費	10,154	
旅費交通費	389,266	
通信運搬費	4,800	
消耗品費	117,157	
保険料	13,500	
租税公課	59,777	
事業費計		2,651,094
2　管理費		
（1）人件費		0
役員報酬	0	
給料手当	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
（2）その他経費		519,197
会議費	23,422	
旅費交通費	112,885	
通信運搬費	113,819	
消耗品費	3,808	
修繕費	33,000	
租税公課	3,542	
支払手数料	228,371	
雑費	350	
管理費計		519,197
経常費用計		3,170,291
当期経常増減額　【A】－【B】　・・・①		322,074
【C】経常外収益		
固定資産売却益	0	
過年度損益修正益	0	
経常外収益計		0
【D】経常外費用		
固定資産売却損	0	
災害損失	0	
過年度損益修正損	0	
経常外費用計		0
当期経常外増減額　【C】－【D】　・・・②		0
税引前当期正味財産増減額　①+②　・・・③		322,074
法人税、住民税及び事業税　・・・④		70,000
前期繰越正味財産額　・・・⑤		4,391,820
次期繰越正味財産額　③－④+⑤		4,643,894

書式第１５号（法第２８条関係）

事業報告用

令和３年度　貸借対照表

特定非営利活動法人インクルーシブデザインネットワーク

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【A】資産の部		
1 流動資産		
現金預金	4,564,922	
未収金		
棚卸資産		
売掛金		
有価証券		
前払費用	93,972	
流動資産合計　・・・①		4,658,894
2 固定資産		
（1）有形固定資産		
車両運搬具		
什器備品		
（2）無形固定資産		
ソフトウェア		
借地権		
（3）投資その他の資産		
敷金		
長期貸付金		
固定資産合計　・・・②		0
【A】資産合計　①+②		4,658,894
【B－1】負債の部		
1 流動負債		
前受金	15,000	
流動負債合計　・・・③		15,000
2 固定負債		
長期借入金		
退職給付引当金		
固定負債合計　・・・④		0
負債合計　③+④		15,000
【B－2】正味財産の部		
前期繰越正味財産額	4,391,820	
当期正味財産増減額	252,074	
正味財産合計		4,643,894
【B】負債及び正味財産合計　【B－1】＋【B－2】		4,658,894

書式第１６号（法第２８条関係）

令和３年度　計算書類の注記　【事業報告用】

特定非営利活動法人インクルーシブデザインネットワーク

１．　重要な会計方針

計算書類の作成は、ＮＰＯ法人会計基準（2010年７月20日　2017年12月12日最終改正　ＮＰＯ法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

(2) 固定資産の減価償却の方法

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

・　　引当金

(4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

２．　事業別損益の状況

（単位：円）

科目	まちづくり、ものづくり支援事業	人材育成、障害者活動支援事業	その他調査研究、普及啓発事業	事業	事業部門計	管理部門	合計
Ⅰ　経常収益							
1．受取会費		1,122,000	1,122,000		2,244,000		2,244,000
2．受取寄附金	12,000	1,500	1,500		15,000		15,000
3．受取助成金等					0		0
4．事業収益	1,213,750	17,573			1,231,323		1,231,323
5．その他収益	1,600	221	221		2,042		2,042
経常収益計	1,227,350	1,141,294	1,123,721	0	3,492,365	0	3,492,365
Ⅱ　経常費用							
(1) 人件費					0		0
給料手当					0		0
役員報酬					0		0
退職給付費用					0		0
福利厚生費					0		0
・・・・・・・・・・					0		0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費							
業務委託費	1,450,940				1,450,940		1,450,940
諸謝金	545,500	50,000	10,000		605,500		605,500
会議費	10,154				10,154	23,422	33,576
旅費交通費	238,413	144,587	6,266		389,266	112,885	502,151
通信費運搬費	4,800				4,800	113,819	118,619
消耗品費	88,791	28,366			117,157	3,808	120,965
修繕費					0	33,000	33,000
保険料	10,500	3,000			13,500		13,500
接待交際費							0
租税公課	54,059	4,901	817		59,777	3,542	63,319
支払手数料					0	228,371	228,371
雑費					0	350	350
その他経費計	2,403,157	230,854	17,083	0	2,651,094	519,197	3,170,291
経常費用計	2,403,157	230,854	17,083	0	2,651,094	519,197	3,170,291
当期経常増減額	-1,175,807	910,440	1,106,638	0	841,271	-519,197	322,074

３．　施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

（単位：円）

内容	金額	算定方法

4．　使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

当法人の正味財産は　　円ですが、そのうち　　円は、下記のように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は　　円です。

（単位：円）

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
合計					

5．　固定資産の増減内訳

（単位：円）

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬具						
什器備品						
・・・・・・・・・・						
無形固定資産						
・・・・・・・・・・						
投資その他の資産						
敷金						
・・・・・・・・・・						
合計						

6．　借入金の増減内訳

（単位：円）

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計				

7．　役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

（単位：円）

科目	計算書類に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人との取引
（活動計算書）			
活動計算書計			
（貸借対照表）			
貸借対照表計			

8．　その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・　事業費と管理費の按分方法

・　その他の事業に係る資産の状況

書式第１７号（法第２８条関係）

事業報告用

令和３年度　財産目録

特定非営利活動法人インクルーシブデザインネットワーク

（単位：円）

科目	金額	小計	合計
【A】資産の部			
1　流動資産			
現金預金			
手元現金	0		
三菱ＵＦＪ銀行普通預金	2,684,233		
三井住友銀行普通預金	1,880,689		
未収金			
売掛金			
棚卸資産			
有価証券			
前払費用	93,972		
流動資産合計　・・・①			4,658,894
2　固定資産			
（1）有形固定資産			
車両運搬具			
什器備品			
（2）無形固定資産			
ソフトウェア			
借地権			
（3）投資その他の資産			
敷金			
長期貸付金			
固定資産合計　・・・②			0
【A】資産合計　①+②			4,658,894
【B－1】負債の部			
1　流動負債			
前受金			
預り金			
前受金	15,000		
流動負債合計　・・・③			15,000
2　固定負債			
長期借入金			
退職給付引当金			
固定負債合計　・・・④			0
【B－1】負債合計　③+④			15,000
【B－2】正味財産合計　【A】－【B－1】			4,643,894

書式第１８号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和３年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人
インクルーシブデザインネットワーク

１　確認事項（法第２０条及び第２１条を確認の上、チェックを入れてください。）

☑以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第２０条関係）
☑各役員について、親族の規定に違反していません。（法第２１条関係）

２　役員一覧

	役　名 どちらかに○	（フリガナ） 氏　　名	[redacted]	前事業年度内の就任期間	報酬を受けた期間（該当者のみに記入）
1	（理事）・監事	（ニシカワ　マサヒロ） 西川　昌宏		令和3年 4 月 1 日 ～ 令和4年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
2	（理事）・監事	（コグレ　タカオ） 木暮　毅夫		令和3年 4 月 1 日 ～ 令和4年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
3	（理事）・監事	（フジキ　タケシ） 藤木　武史		令和3年 4 月 1 日 ～ 令和4年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
4	（理事）・監事	（イナガキ　ノリヨ） 稲垣　典世		令和3年 7 月 1 日 ～ 令和4年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
5	（理事）・監事	（イワザキ　アキヒロ） 岩崎　昭浩		令和3年 4 月 1 日 ～ 令和4年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
6	（理事）・監事	（オクダ　タカコ） 奥田　高子		令和3年 4 月 1 日 ～ 令和4年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
7	（理事）・監事	（セリザワ　カズヤ） 芹澤　和也		令和3年 4 月 1 日 ～ 令和4年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
8	（理事）・監事	（フジイ　ヒロミ） 藤井　浩美		令和3年 4 月 1 日 ～ 令和4年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
9	（理事）・監事	（モリ　ジュンイチ） 森　淳一		令和3年 4 月 1 日 ～ 令和4年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
10	理事（監事）	（ツタタニ　クニオ） 蔦谷　邦夫		令和3年 4 月 1 日 ～ 令和4年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日

書式第４号（法第１０条・第２８条関係）

設立・事業報告用

社員名簿（社員のうち１０人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人インクルーシブデザインネットワーク

	氏　　名	[redacted]
1	西川　昌宏	
2	木暮　毅夫	
3	藤木　武史	
4	奥田　高子	
5	藤井　浩美	
6	芹澤　和也	
7	萬谷　邦夫	
8	和田　紀彦	
9	宮本　裕之	
10	森　淳一	
11		
12		